

事業優先順位	2 細事業:自動車文庫事業				整理番号	02	
目的	図書館・公民館図書室の利用が困難な地域住民に、身近な図書館サービスを提供すること。						
目標	自動車文庫が活発に利用されることで、図書館資料が市民に活用されるようにする。						
事業実施主体	直営	事業開始年度	昭和60年度	根拠法令	図書館法第3条		
事業費・財源			平成24年度	比較			
	事業費 (決算額) (千円)		2,565		総コスト (千円)	7,149	
	財源内訳	一般財源	2,565		内訳	事業費	2,565
		国府支出金	0			人件費	4,584
		地方債	0			公債費	0
		その他特定財源	0			一人あたり (円)	63
			0			世帯あたり (円)	152
			0			職員数 (人)	0.55
	0		再任用職員数 (人)	0.10			
今後の方向性	1人当たりの貸出冊数の上限を10冊から20冊に拡大、利用促進のPRや平成25年度に予定する図書館電算システム更新に伴うサービスの充実等により利用促進と利用拡大を図る。						
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民		
	A	A	B				



【4月 桜咲く大矢船第3公園で
利用者を待つ自動車文庫】



【北青葉台の青葉台公園で開館中の自動車文庫】

細事業：自動車文庫事業

市内全域サービスを目指し、市内に23箇所のステーションを設け、自動車文庫による巡回を行った。

(1) 自動車文庫利用の利便性向上への取り組み

11月に関係自治会へ自動車文庫の巡回案内を送付し、自動車文庫のPRを行い利用促進につなげた。また12月から1月にかけて、利用者の利便性と読書環境の向上・充実を図るため、試行的に1人当たりの貸出冊数の上限を10冊から20冊（うち視聴覚資料は2点から4点）に拡大した。

(2) 自動車文庫蔵書状況

自動車文庫の利用者層を考慮しながら、適切な蔵書の構築を図った。

自動車文庫蔵書数

一般書蔵書冊数	児童書蔵書冊数
8,908冊	8,895冊



「教育立市「読書のまち河内長野」の実現を目指して…

【8月30日にキックス1階エントランスで実施した

「えほんのひろば」の様子】



【10月3日に実施した「対面朗読ボランティア養成講座」での一コマ。

視覚障がいのある方との接し方を学んでいる様子】